

# 文化にふれる 美和区域みてあるき

MIWA AREA



## 1 治水記念碑

天保8年(1837)の五八(ごはち)悪水治水記念碑。上街道(津島街道)をはさんで、上の8ヶ村が排水に苦しみ、下の5ヶ村と水争いが生じた。碑は解決に向けた清洲代官はじめ三人の名を刻み、その徳をたたえている。



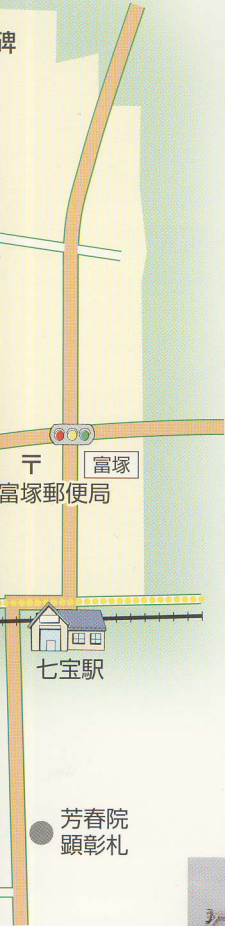
## 14 貴船社

戦国武将豊臣秀次(1568~1595)ゆかりの神社で、秀次の関白就任と武運長久を祈願し、実父の三好吉房(みよよしよぶさ・犬山城主)が社殿を造営したと伝えている。

## 15 葛ノ葉稲荷社

古代寺院の篠田廃寺遺跡に鎮座し、和泉国信太(しのだ)から勧請されたと伝えられる。「恋しくば尋ねきてみよ和泉なる篠田の森のうらみ葛の葉」の碑が建立されている。





## 2 蜂須賀小六正勝公碑と蜂須賀城址

豊臣秀吉に仕えた戦国武将蜂須賀小六正勝の顕彰碑(昭和2年建立)と中世の城館であった蜂須賀城の石碑(大正5年建立)。



## 3 蓮華寺仁王門

蜂須賀小六正勝とその子家政の菩提寺。蓮華寺は空海の開基と伝え、蜂須賀弘法の名で親しまれている。家政は50石の所領を寄進した。



## 4 二十五菩薩来迎会(らいごうえ)

毎年4月の第3日曜日に行われる蜂須賀弘法御開帳の記念法会で、二十五菩薩が現世に現れ、民衆を極楽浄土に導く様子を再現する伝統行事。



## 5 蜂須賀小六正勝公旧宅趾碑

蜂須賀小六正勝(1526~1586)の居館跡。蜂須賀城の本丸と思われる中心地に建立されている。



## 6 法蔵寺

本尊は寛喜2年(1230)の銘をもつ鉄造地蔵菩薩立像(鉄地蔵)で、国指定重要文化財。寺伝によれば、蜂須賀小六が桶狭間の戦いへ鉄地蔵を持参しようと蓮華寺東門近くからこの地まで動かしたという。



## 7 福島正則生誕地碑

豊臣秀吉に仕えた賤ヶ岳七本槍で有名な戦国武将福島正則(1561~1624)の生誕地。石碑は大正4年に建立。この西南に正則の生家があったと伝えられる。



## 8 菊泉院

鎌倉時代の創建と伝えられ、戦国武将福島正則の菩提寺。正則の位牌、護持仏の毘沙門天立像、肖像画が奉納されている。霊園には正則の供養塔と記念碑がある。



## 9 福島正則公供養塔と遺徳記念碑

菊泉院霊園に福島正則公顕彰会によって、380年祭記念事業として平成15年に供養塔と記念碑が建立されている。



## 10 ニツ寺神明社古墳

あま市唯一の前方後円墳で全長約80m、後円部径約45m、前方部幅約33m、前方部の高さ約3m、後円部の高さ約6m。古墳時代前期の古墳といわれている。



## 11 大館高門一族墓碑

大館高門(1765~1839)は木田村に生まれ、通称左市、のちに高門を名乗る。屋号は梅屋で玉主(たまぬし)を称することもあった。国学者本居宣長に入門した文化人。宣長の著書の復刻につとめた。福田寺(ぶくでんじ)が菩提寺となっている。

## 12 湯の花神事

毎年10月の第2日曜日に木田の八剣社で行われる湯立の神事。拝殿前にカマドを作り5つの湯釜を据える。神事のあと、湯を飲んで無病息災を祈願する。



## 13 木田の山車揃え

毎年10月の第2日曜日に木田の八剣社で行われる山車(だし)揃え。飾りつけた6台の山車を、笛と太鼓で木田中を曳きまわし、八剣社に参詣する。

## 16 嫁獅子の里碑

白山社の境内に建立。嫁獅子は明治~大正にかけて盛んであった歌舞伎を取り入れた獅子芝居で、木折地区の嫁獅子一座は有名で各地で公演した。

